

対象年度	令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名	市道排水整備事業							予算事業名	市道排水整備事業費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法						
			08	02	02	1201	経常経費								
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分	主要事業						
	2-2ゆとりある住みよいまちづくり(住環境)														
	②良好な住環境の形成							担当課係等	土木課						
	2道路排水の整備推進								維持係						
事業期間	継続 (昭和30年度～令和 4年度)														
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
排水施設(側溝・排水管)を作ることにより、人や車両が安全に通行できる。								住民からの要望が多く、道路や住環境の安全性について、緊急的な対応が求められている。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
排水施設(側溝・排水管)の設置								道路の利用者							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								住みやすさが求められる中で、道路や住環境の安全性への意識は非常に高まっている。							
【令和 2年度 事業内容】					【令和 3年度 事業内容】					【令和 4年度 事業内容】					
排水整備工事					排水整備工事					排水整備工事					

■事業費

		H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	35,651	36,500			
歳 入 計 (千 円)		35,651	36,500			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金 額 (千 円)	金 額 (千 円)			
	13 委託料	0	2,500			
	15 工事請負費	35,651	34,000			
歳 出 計 (千 円) (A)		35,651	36,500			
伸 び 率 (%)			2.38			
備 考	総合計画 74～76ページ 予算書 136ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	排水施設(側溝・排水管)の設置	m	目標	500.00	500.00	500.00
			実績	837.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	排水整備率	%	目標	24.40	24.60	24.80
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	ますます必要性は高くなっている（または、緊急性が極めて高い）。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在のやり方が一般的であり、特に問題ない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	効率は徐々に高まっている（コストは徐々に下げられている）。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね目標水準を達している。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	ある程度進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
予算が削減されていく中で、コスト削減に努めてはいるが、近年ゲリラ豪雨等により住宅地の冠水が増加傾向にある。また、他の事業に比べてコストが高いため、対応が困難である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
水溜り箇所図の作成等の現状把握・分析 年々市道排水整備の要望が増加する中、より専門的な設計が求められるため、設計委託により対応していきたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 整備箇所の情報を整理し把握したうえで、経済性・必要性・妥当性を考慮し最適な設計・整備に繋げていく必要がある。また浸透施設による場合等は新たな製品・工法も視野に入れ検討が必要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	